

学校教育方針		中・長期目標
人間尊重の基盤に立って、学習を深め、心身ともに健全で情操豊かな人間形成を目指す。そのために、本校を取り巻く地域社会の特質と生徒の実態をふまえて、次の項目に重点を置く。 1. 自主性・積極性を育てる。 2. 学力・気力・体力の充実向上をはかる。 3. 連帯感を培い、社会性を養う。		1. 自分自身の意見をはっきり持ち、健全でバランス感覚に優れ、社会を支えられる次のような生徒の育成をはかる。 ① 幅広い基本知識を身に付けた生徒 ② 生徒会活動、部活動、HR活動等に積極的に参加する生徒 ③ 清掃・挨拶がしっかりできる、礼儀正しく、基本的な生活習慣の身についた生徒 2. 自分自身で進路を開拓し、成就できる次のような生徒の育成をはかる。 ① 資格取得、ボランティアの実習、体験入学、企業体験などに積極的に臨み、進路実現に意欲的な生徒 ② 知的好奇心旺盛で、自らの学力を高めることにより、進路を実現しようとする生徒
		今年度の重点目標
		1. 学習と部活動・生徒会活動の両立を図り、自己の進路実現に向けて努力する生徒を育てる。 2. 基本的な生活習慣が身につく、挨拶や清掃に積極的に取り組める生徒を育てる。 3. いじめや体罰のない安心かつ安全な学校づくりに務める。
学年	重点項目	評価の観点
1学年	基本的な生活習慣の確立。	1学年指導方針「欠席・遅刻・早退をしない。」の具体化で、怠るべきことを確実にやることかできていたか。
	他を思いやる力の涵養。	1学年指導方針「掃除・挨拶をしっかりとしよう。」の具体化で、清掃による他と共有する環境の整備や、挨拶による他への思いやりの気持ちが醸成できたか。
	学習の基礎の習慣化。	1学年指導方針「授業は積極的に受けよう。」の具体化で、予習・復習を含めた学習の取り組みの習慣化ができたか。
2学年	基本的な生活習慣の確立。	今後の進路を考える上で必須である基本的な生活習慣を獲得、発展させているか。
	自己と他の人権意識の獲得。他を思いやる力の涵養。	2学年指導方針「掃除・挨拶をしっかりとしよう。」および「自分を大切にしよう。」とは、自分とは異なる他者の存在を理解しなければならないが、意識できたか。
	学習の応用力の養成。	2学年指導方針「授業は積極的に受けよう。」を踏まえた上で、自分のなりの学習方法の確立ができたか。 各種の進路説明会やオープンキャンパス、また研修旅行などを通じて、積極的に自分の進路の方向性を決定することができたか。また、3年次に向けての適切な科目選択ができたか。
3学年	・当たり前のことが、当たり前に行える人材や集団の育成(凡事徹底) ・お互いに対し、いたわりと思いやりの気持ちを持つ。 ・悔いのない充実した高校生活を達成するための各種指導	基本的な生活習慣が身についているか。また、最上級生として自分の役割や立場を自ら考え、クラスマッチ・豊高祭・合唱コンクールなどの各行事に自主的積極的かつ楽しく参加しているか。自己の属する集団の中で、思いやりのある行動ができ、いじめなどがなかったか。 3年生としてクラブ活動や生徒会活動で、各部署の中心的、模範的な存在となって活躍できているか。
	・確かな基礎学力固めと応用力養成並びに自分に合った進路選択に向けての意識づけと具体的な活動(多様性の追求)	生徒たちが間近に迫った自分の進路を意識する中で、予習、授業、復習の流れを実行し、十分な家庭学習の時間をきちんと確保できているか。 各種の進路説明会やオープンキャンパスなどで情報を収集し、積極的に自分の進路の方向性を決定することができるか。また、自分の決めた進路目標に向かって、精一杯努力する姿勢ができていたか。
部	重点項目	評価の観点
教務	学校運営の潤滑油として日常的に機能する	生徒が安心して安全な日常生活を送れるよう、細やかな配慮ができたか。 生徒の活発な活動を促すような行事計画などを、各部署に適切なタイミングで提案できたか。 想定外の事象に直面した場合、緊急の対応が問題なくなされたか。 HPなどのツールを有効に利用して、新鮮な情報を発信できたか。
	本校の魅力を積極的に発信する	「学校説明会」、「学校公開週間」が効果的に実施できたか。
進路指導	生徒による自主的、積極的なキャリア研究と進路実現に向けた計画的な指導と助言	①キャリア教育を体系的に再構築し、運用できたか。 ②学習合宿、講演会、ガイダンス等の企画運営や情報の収集・伝達を効果的に行えたか。 ③家庭学習の習慣を定着させるために、学年・教科と連携し、指導できたか。 ④上記①～③の実現のために、部内の仕事内容を見直し、効率化が図れたか。
生活指導	問題行動の未然防止とその対応	校内巡視が計画的に行えたか。 アンケートを実施し、いじめの実態把握と対応がきちんとされたか。 交通安全の立ち番を計画的に行いマナーやルールを守る意識を指導することができたか。 全職員で携帯電話の使用について注意喚起することができたか。
	地域・家庭との連携	学校・警察連絡協議会を通じて情報交換と連携が図れたか。 PTAと連携し市内巡視ができたか。
生徒会指導	生徒主体の行事の運営と魅力ある生徒会組織作り	各種行事の企画・運営に生徒を主体的に関わらせ、計画的に運営するように指導できたか。本部役員が率先して全校生徒を牽引できたか。
	活発な運動部・文化部の活動運営のための援助	クラブ活動の支援ができたか。
保健・清整	生徒の健康状態の的確な把握と安心安全な学校作り	生徒の健康状態について職員間での共通理解を深めるとともに、健康の保持・増進をサポートすることができたか。 生徒の委員会活動や教室・校内の環境整備を通じて、健康的に学校生活を送るための環境衛生の維持に努めることができたか。
	校内・校外周辺環境美化	学校全体で清掃活動に意欲的に取り組めたか。 ①校内の環境美化活動を計画的に進めることができたか。 ②校外の清掃活動を計画的に行えたか。

図書・視聴覚	資料収集と提供	蔵書構成や利用をふまえた選書ができたか。 リクエストや予約の制度が利用できたか。 公共図書館や他校との相互貸借ができたか。
	教科との連携	授業やHR、文化祭などで図書館の利用が活発になされたか。
	読書推進活動	図書館講座や読書週間・朝読書などの行事が予定どおりできたか。 資料の紹介・図書の推薦が行われたか。
	利用しやすい放送室の整備	昨年に引き続き、多くの職員や放送委員がより使いやすい放送室になるよう工夫していく。
	授業に生かす、視聴覚教材の探求	高視研の事務局が本校に置かれたので、最新の情報を仕入れ共有することで、日々の授業に役立てる。
防 災	生命を守る危機管理体制の整備	平成30年度防災計画の作成・確認はできたか。
	職員の防災意識の向上	危急時に備えた職員の意識を高めることができたか。
	火災・地震などに対する緊急体制の整備	緊急時における職員の初動体制を確認ができたか。 防災訓練を実施することにより緊急体制の確認ができたか。
渉 外	PTA・同窓会活動の活性化	PTA活動に対する保護者の理解と関心を高め、諸行事への参加率を向上させることができたか。
委員会	重点項目	評価の観点
教育課程	生徒の多様な進路希望に対応できるように、教育課程のさらなる改善および講座の編成	新課程実施において起こりうる様々な問題点・見落とし等を早期に発見し対応策を講じることが出来たか。
	「31年度入学生用の教育課程」の編成	教育課程の編成が適当であったかしっかりと検証し、31年度入学生用の教育課程の骨格を作れたか。
	次期学習指導要領における新教育課程の検討	新教育課程について本校の特性や実態に合わせた課程の検討ができたか。
	総合的な学習の時間の内容等の検討	探究活動が行えるカリキュラムが作れたか。
「総合」運営	進路に関する積極的な意識づけと自己の目標の設定	「総合的な学習の時間」の中で、高校卒業後の自己の進路実現に向けて、各学年の設定した学習目標が達成できたかどうか。(全学年) 「探求的学び」を取り入れた「総合学習の時間」を計画・実施できたか。(1学年)
入学者選抜	確実・効率的な選抜業務の遂行	昨年の反省を活かした準備と確実な選抜業務が遂行できたか。
将来構想・学習検討	本校の将来像を考えるための基礎構築 本校の教育活動が生徒をよりよく伸ばすための一助となる資料の提示	本校の現状についての多様な考えを交換し、生徒急減期に備えて、また将来像を描く上での方向性を論議する 本校の現状を理解するために教職員・保護者・生徒に対してアンケートを実施し分析した上で教育活動に活用する
人権教育	人権意識の向上	人間尊重の意義、及び様々な人権問題についての正しい理解と知識を深める学習ができたか。 互いの個性を認め合い、友情を育む学習が行えたか。
図書選定	資料収集と提供	蔵書構成や利用をふまえた選書ができたか。
合宿所運営	・使用規定の遵守	新合宿所使用がスムーズな手続きで行えたか
学校衛生	職員の安全衛生及び健康保持増進を図る	職員の健康診断を全員実施が達成できたか。 衛生委員会を定期的に開催できたか
生徒支援(教育相談)	・支援会議の実施 ・支援シートの作成	・支援が必要な生徒の支援シートの作成 ・中学から引き継いだ生徒を中心に支援会議の開催
	・職員研修会の実施 ・欠席が続き始めた生徒や様子が変わってきた生徒への早期対応	・可能ならば2回実施したい ・校内便りを活用し、職員生徒への情報提供 ・担任だけでなく、様々な立場の人が生徒に気づき、互いに連携を取りあって対応するように。
いじめ対策	いじめの未然防止・早期発見に向けた生徒指導の取り組みについての研究と実践	「学校いじめ防止等のための基本的な方針」に基づき、未然防止・早期発見のための職員間の連携が機能したか。 問題対応とその指導が適切になされたか。
コンプライアンス	公務員としてのコンプライアンス意識を高めるために個人とともに職場全体で研修に取り組む	1年間を通して、効果的な研修が行え、その結果として各個人・職場としてのコンプライアンス意識が向上したか。
セクハラ対策	被害者・加害者にならないためのセクシャルハラスメントの正しい理解推進	研修会等、様々な機会をとらえて意識の向上が図られたか。
学校評議員校内運営	学校運営に生きる情報連携・行動連携の方法の模索	学校評議員からの意見や提言を学校運営に活かせる方向で検討することができたか。
しなの木セミナー運営	進路実現および学力向上のための支援	進路実現と学力向上のために有効な講座設定や円滑な運営ができたか。